

## スーダン政治経済ニュース(2021年5月前半)

令和3年5月24日

在スーダン日本大使館 政務経済班

対象期間:令和3年5月1日-15日

### I. 政治

#### 1. 内政

##### 1. ミニ・ミナウイSLM-MM代表のダルフル地方長官への就任

4月29日、ハムドゥーク首相は、ミニ・ミナウイSLM-MM代表をダルフル地方長官に任命した。ダルフル地方長官の権限は、今後制定される法律によって決定される見込み。

##### 2. 統治制度会議の初回会合開催

5日、タアーイシュ主権評議会評議員は、統治制度会議の第1回会合を開催した。統治制度会議は、現在の国内18州から成る州制度の統合・再編を通じた「地方」を単位とする地方行政制度の導入について議論するための会議体。第1回会合では、関連の技術委員会の統括や関係省庁との連絡体制、各種支援の動員、避難民や在外スーダン国民を含むあらゆるスーダン人市民の参加促進、及び各州におけるワークショップの開催をはじめとする、統治制度会議の取り組むべき課題とこれに対する責任が確認された。

##### 3. UNITAMS代表とSLM-AW代表の面会

(1)6日、南スーダンを訪問中の国連スーダン統合移行支援ミッション(UNITAMS)のペルテス代表は、同国の首都ジュバにおいて、(ジュバ和平合意に未署名の)アブドゥル・ワーヒドSLM-AW代表と面会した。SLM-AW報道官によると、アブドゥル・ワーヒドSLM-AW代表は、ペルテスUNITAMS代表に対し、スーダンにおける公正、包括的、且つ持続可能な平和の構築を目指すSLM-AWのビジョンを説明した。一方、ペルテス代表は、民政移行の支援及び民主主義の基盤強化等のUNITAMSのマンデートを説明した。

(2)ペルテス代表は、南スーダン滞在中、5月25日に予定されているスーダン政府と(ジュバ和平合意に未署名の)SPLM-Nヘルウ派との交渉開始を前に、南スーダンのスーダン和平仲介関係者らとも会談を行う予定。

##### 4. ハルツームにおけるデモ隊に対する軍・治安機関の発砲

(1)11日夜、スーダン国軍(SAF)総司令部前周辺において、2019年6月3日に発生したデモ隊強制排除・殺害事件に対する軍・治安機関の早期責任追及を求めて集まった抗議者に対し、軍・治安機関が実弾使用を伴う形でこれを排除した。12日未明にスーダン中

央医師委員会が発表した声明によると、最終的な被害は死者2名、負傷者28名に達した模様。

(2)12日、本事案発生を受け、ハムドゥーク首相は、2度にわたり緊急閣僚会議を開催した。会議では、国防大臣が、事案の詳細について報告するとともに、右事案に対する軍の陳謝を述べ、犠牲者に対する軍本部の追悼の意を表明した上で、国軍隊員のうち実弾発砲の容疑のある者を全員拘留し、数日以内に犯罪者を起訴すべく準備することを確認した。また、会議では、内閣として次の措置を講じることが決定された。

- ① 2019年6月のデモ隊強制排除・殺害事件の調査を行う独立国家委員会を次回閣議に召喚し、調査の進捗について審問するとともに、調査の完了及び調査結果の提出期限を定めるよう要求
- ② 検事総長及び司法長官の出席の下、主権評議会・内閣合同会議を開き、両名の職務を見直すとともに、検察及び裁判所の活動方式に関する抜本的措置を実施
- ③ 今後1週間以内に移行期正義委員会を発足すべく、様々な当事者との協議を実施
- ④ 法務省に対し、国内治安法の法案を(早急に)完成させるよう指示し、民政移管及び人権の価値観に合致する形で当該法案に関する議論を開始

## 5. 自由と変化宣言勢力(DFC)の組織改革に向けた協議

(1)14日、自由と変化宣言勢力(DFC)を構成する政党及び市民団体は会合を開催し、DFCの組織改革及び革命勢力の結束強化に取り組むことに合意した。右会合は、5月11日に発生した軍本部前でのデモ隊への発砲事件を受け、国民ウンマ党(NUP)の呼びかけで開催された。

(2)会合後、NUPは声明を発表し、会合ではスーダンの移行期間における課題及びDFC内部の課題について率直な議論が行われ、参加者が、自由と変化宣言の改定、参加組織の拡大、DFCの組織改革の実施、全ての革命勢力の結束の必要性を強く認識したと明らかにした。また、会合参加者らは、新たな委員会を発足させ、各組織から(DFCの改革に向けた)提案を募り、21日に開催される次回会合までに統一した提案を作成することで合意した。

## 2. 外交

### 1. 米国「アフリカの角」担当特使によるスーダン訪問

8日、当地主権評議会は、同日に行われたブルハン主権評議会議長と現在スーダン訪問中のジェフリー・フェルトマン米国「アフリカの角」担当特使の会談に関する声明を発表した。右声明の概要は以下のとおり(番号は当館で便宜上付したもの)。

- ① ブルハン議長は本日(8日)、自身の執務室において、ジェフリー・フェルトマン米国「アフリカの角」担当特使と会談し、様々な課題におけるスーダン・米国間の協力強化の方途について協議を行った。同議長は、フェルトマン特使が今般「アフリカの角」

地域担当の米大統領特使に任命されたことを歓迎し、祝意を表明した。

- ② ブルハン議長は、フェルトマン特使との会談において、国際社会の安全・平和を維持するためには地域・国際社会の連携を必要とする大きな問題があること、そうした問題の解決に当たっては米国とスーダンの協力・連携が必要となること等を確認した。
- ③ ブルハン議長は、フェルトマン特使に対して、GERD 問題に関する一般的説明を行い、(ナイル川の)上流国(エチオピア)と下流国(スーダン及びエジプト)の間の対立を交渉によって解決し、三国が共に連携し合うことが必要であるとするスーダン立場を明確に伝えた。同議長は、GERD の貯水・運用に関する三国間の合意締結の必要性を強調した。
- ④ スーダン・エチオピア国境上の出来事について、ブルハン議長は、(国境地帯における)スーダン国軍(SAF)の部隊配備は国境のスーダン側領土内で行われたものであること、右国境は国境標の設置のみ未完了のままだが、エチオピアはこれまで数多くの場面において既に当該国境の存在を認めていること、当該国境は(過去に結ばれた数々の)歴史的合意によって画定された国境であること、を明確に説明した。
- ⑤ ブルハン議長は、スーダンはエチオピアとの善隣関係に基づき、エチオピアと協力して同国の国内問題の解決に臨む用意があると指摘した。
- ⑥ ブルハン議長は、米国に対して、スーダン暫定政府の味方に立ち、スーダンの移行期間が直面する課題への対処を支援することを呼びかけた。
- ⑦ これに対し、フェルトマン特使は、スーダンと「アフリカの角」地域、及び紅海の安全保障が米国にとって重要であることを確認するとともに、自身(フェルトマン特使)の任務を成功裏に完遂するためにスーダンからの協力を求めた。

## 2. スーダン・中国外務大臣会談の開催

9 日、スーダン外務省は、同日にマリアム・マハディ外務大臣が中国の王毅外務大臣と行った電話会談に関する声明を発表した。右声明の概要は以下のとおり(番号は当館で便宜上付したもの)。

- ① 本日(9 日)、マリアム・マハディ外務大臣は、中国の王毅外務大臣と電話会談を行った。
- ② 会談では、スーダン・中国の二国間関係と様々な分野におけるその強化・発展の方途について協議した。マリアム・マハディ外務大臣は、GERD 問題とパリ会合(注:5 月 17 日にパリで開催された第 2 回スーダン・パートナーシップ会合)を中心にスーダン情勢について説明を行った。同大臣は、(法的)拘束力のある合意締結の必要性を提唱するスーダンの GERD に対する公式見解を説明するとともに、スーダンは(GERD の)貯水に向けたいかなる一方的措置も拒否することを明らかにし、法的義務や国際法のルールに基づきすべての当事国の利益を実現しようとするスーダン

の意欲を確認した。同様に、同大臣は、(GERD の)合意なき第2回貯水の危険性を強調するとともに、エチオピアに対して(かかる貯水行為に踏み切らないよう)圧力を行使し、スーダンの要求を支持することを(中国に)求めた。

- ③ また、マリアム・マハディ外務大臣は、王毅外務大臣に対して、5月中旬に開催予定のパリ会合への出席を呼びかけるとともに、スーダンの経済発展を阻んでいる債務の帳消しを訴えた。
- ④ 国の二国間関係について、マリアム・マハディ外務大臣は、革命を経て覚醒したスーダンは対中関係の重要性と右関係を(両国の)共通利益に資する形で活性化させることの必要性を認識していると述べた。
- ⑤ これに対し、中国の王毅外務大臣は、GERD に対するスーダンの立場に理解を示すとともに、可能な限り早急に(GERD の貯水・運用に関する)合意を締結することの重要性を指摘した。同様に、同大臣は、パリ会合に対する中国のハイレベルの参加を確認するとともに、中国は(スーダンが同国に対して負っている)債務の帳消しまたは部分的な帳消しについて前向きに検討していると述べた。同大臣は、中国とスーダンの二国間関係、及び(両国の)経済・文化・政治面での協力を称賛するとともに、スーダンが両国間の友情・協力を強化すべく、経済・社会・文化のあらゆる面において(中国との)関係を活性化させる用意があることに対する中国からの感謝の気持ちを述べた。

### 3. ブルハン主権評議会議長による UAE 訪問

10日、主権評議会は、UAE を訪問中のブルハン主権評議会議長が9日に行ったムハンマド・ビン・ザーイド(MbZ)アブダビ皇太子との会談に関する声明を発表した。右声明の概要は以下のとおり。

- ① ブルハン主権評議会議長とムハンマド・ビン・ザーイド(MbZ)アブダビ皇太子は、スーダンとUAEの両国民の利益を強化しこれに資するべく、様々な分野における両国の二国間関係について協議を行った。
- ② 会談は、UAEの首都アブダビにあるシャッティ宮殿で行われ、両国の代表団がこれに出席した。両者は、右会談において、共通の関心課題について協議するとともに、スーダンにおけるUAEの投資機会を中心に意見交換を行った。
- ③ ブルハン議長は、新型コロナウイルス感染症対策やその他の分野において、スーダンの移行期間が直面する課題に対処するために、UAEが提供し続けてきた多大な支援を称賛した。同議長は、スーダン国民に対する支援において、UAEが引き続き積極的な役割を果たし続けることを期待する旨表明した。
- ④ 会談では、隣国エチオピアと接するスーダンの東部国境における情勢や、ルネサンス・ダム(GERD)問題についても協議した。ブルハン議長は、(GERDの)貯水・運用に関する(法的)義務(を規定した合意)に至るべく交渉を継続する必要性を確認し

た。

#### 4. パリにおけるスーダン・エジプト首脳会談の実施

16日、主権評議会は、スーダン民政移管支援に関するパリ会合に出席するため、パリに滞在中のブルハン主権評議会議長が、エルシーシ・エジプト大統領と行った会談に関する声明を発表した。概要は以下のとおり(番号は当館で便宜上付したもの)。

- ① ブルハン主権評議会議長は、仏の首都パリの滞在先宿舎において、スーダン民政移管支援に関するパリ会合に参加するエルシーシ・エジプト大統領と会談を行った。
- ② ブルハン議長は、エルシーシ大統領の当該会合への参加を嬉しく思う旨表明するとともに、エジプト・スーダン関係は運命共同体という特殊性・一体性によって特徴付けられるものであると述べ、あらゆる分野におけるエジプトの対スーダン支援の立場に言及した。
- ③ 両首脳は、ガザ地区に対するイスラエルの攻撃継続への懸念を表明し、かかる攻撃に対して両国はパレスチナ国民と共にある旨確認した。両者は、パレスチナ問題に対するアラブ(諸国)の立場と連携しつつ、パレスチナの立場を支持し、ガザ地区及び東エルサレム市に対するイスラエルの攻撃の阻止に向けて行動する用意がある旨確認した。
- ④ また、会談では、チャド情勢についても言及し、チャドの国内対話を通じた地域の安全・安定維持に繋がるあらゆる支援を提供する旨確認した。
- ⑤ 二国間関係について、ブルハン議長は、エジプト・スーダン間の合同プロジェクトの活性化、及び政治・経済・安全保障・軍事を中心とした様々なレベルにおける両国間の協力の展望強化に対するスーダンの積極性を確認した。
- ⑥ これに対し、エルシーシ大統領は、ブルハン議長(の上記発言)に対して謝意を述べるとともに、両国民は同胞・友愛及び共通の歴史の絆によって結ばれていることを強調し、共通の関心事項である戦略的課題を中心に、共通の政治的意志を反映する形で二国間関係がより幅広い展望を切り開くべく発展していることを称賛した。
- ⑦ エルシーシ大統領は、エジプトはあらゆる分野においてスーダン政府・国民との協力を継続する旨確認し、相互尊重・協力に両国の利益を見出し、右に立脚する戦略的パートナーシップを強化する形で二国間関係を向上させることに関心を有していると述べ、これによりエジプト・スーダン関係を経済的パートナーシップの模範例としたいとの思いを述べた。同大統領は、スーダンの安全・安定はエジプトのそれと不可分の関係にあるとの確信の下、スーダンが現在迎えている重要な局面において、同国の平和・安定・開発の強化に向けたあらゆる取組をエジプトは支援すると述べた。
- ⑧ 同様に、会談では、二国間関係の強化の方途に加え、共通の関心事項である地域・国際課題についても協議が行われた。両首脳は、アフリカの角及び東アフリカ地域の最新情勢について協議し、アフリカ大陸が直面している課題に対処するための

アフリカ自身の能力の強化を確保する形で、これらの問題に対する対策方法について両者の見解を一致させた。両首脳は、GERD 情勢に関して意見交換を行い、GERD 問題が現在迎えている局面に対して見解を一致させた。

## II. 経済

### 1. 国内の経済情勢

#### 1. 商業銀行のドル売規制の緩和

4月29日、スーダン中央銀行は、パラレル・マーケットにおける対ドル・スーダンポンド (SDG) 価格の下落を受け、商業銀行及び両替機関のドル売り規制を緩和することを発表した。中央銀行の通達によると、商業銀行及び両替機関が顧客に対して交換可能な外貨(米ドル)枠を拡大するほか、必要に応じて(中央銀行から)商業銀行に対して外貨を供給する用意があるとのこと。銀行家らは(パラレル・マーケットにおける)SDG の対ドル価格が再び減価し始めた理由として、商業銀行が輸入事業者の外貨需要を十分に満たせていない問題を指摘していた。

#### 2. パラレル・マーケットにおける対ドル SDG 価格の下落

5月3日付・当地「スーダニー」紙によると、パラレル・マーケットにおけるSDGの対ドル価格が1米ドル=405SDG(売レート)、1米ドル=400SDG(買レート)に下落した。為替トレーダーは、向こう数日のSDG下落を予想した闇両替商による投機的為替取引により、SDG安が進行したと分析した。

#### 3. 中国企業によるポートスーダンのコンテナ・ヤード整備

9日付・当地「スーダニー」紙によると、中国のジャック・ハーバー社がポートスーダンにおいて6,000万ドル規模のコンテナ・ヤード整備プロジェクトを開始する。スーダン港湾公社(SSPC)のアワッド・カリーム・ハサン・ハメド・エンジニアリング部門副部長によると、今後2年のうちにポートスーダン内の32万平方メートルの区域を舗装し、コンテナ保管場所、照明塔、排水設備、警備設備、及び8レーン分の電動ゲートを整備するとの由。

#### 4. ドイツIT・通信企業代表団によるブラヒーム・ジャービル評議員往訪

10日、イブラヒーム・ジャービル主権評議会評議員は、共和国宮殿において、決済システム、通信、個人認証、サイバーセキュリティなどを手がけるドイツのG+D社代表団と面会した。同代表団は、G+D社が2019年の革命後、スーダンにおいて事業を開始したとし、同社の事業プロジェクトを同評議員に説明した。

## 5. スーダンの SWIFT への参加遅延

11 日付・仏系「スーダン・トリビューン」紙は、スーダンの金融機関の SWIFT への参加が依然実現しておらず、右参加遅延が国際送金の障壁になっていると報じた。同紙は、現在スーダンの銀行は、湾岸諸国の一部の銀行との間でしか国際取引を行うことができず、ブラック・マーケットを利用した国際送金が平常化している原因となっていると指摘した。スーダン中央銀行(CBoS)関係者らによると、同国は現在 SWIFT に参加するため、銀行識別コード(BIC: Bank Identification Code)の取得手続を行っており、一部の銀行は手続を既に完了させ、CBoS の許可を待っている状況。

## 6. UAE によるスーダンへの石油供給支援の確約・国際送金円滑化合意

(1)11 日、UAE を訪問したハーリド内閣担当大臣は、UAE が、同国のアブダビ国営石油会社(ADNOC)を通じ、スーダンの石油製品需要量の全量を供給する旨確約したと明らかにした。UAE が、(慢性的に外貨準備が不足しているスーダンに対し、)非常に緩やかな金融条件で石油製品を提供するとの由。スーダン・エネルギー省の代表団が翌週 UAE を訪問し、詳細を議論する予定。

(2)さらに、同大臣は、UAE が、スーダン・湾岸諸国間の国際送金の円滑化に協力することに合意したと明らかにした。翌週、スーダン中央銀行(CBoS)と UAE のカウンターパートが具体的な協議を行う予定。

## 7. 金・農産品取引市場の設置

11 日付・当地「スーダニー」紙によると、ジブリール財務・経済計画大臣は、金及び農産品の取引市場を設立する計画を明らかにした。金及び農産品の公正な国際価格での取引を促し、不法取引防止、農産品生産サイクルの改善、延いてはスーダン産品の国際市場での競争力向上を図る目的。本計画は、近日中にハムドゥーク首相により、正式に決定される予定。

## 2. 諸外国・機関との協力・連携等

### 1. IMF による SMP のスタッフ・レベル審査の完了

7 日、ジブリール財務・経済計画大臣は、スタッフ・モニタード・プログラム(SMP)のスタッフ・レベル審査が完了したと発表した。今後、マネジメント・レベルでの承認を経て、最終的に SMP の履行完了が承認される予定。SMP に基づく経済改革の実施は、HIPC プロセスにおける決定基準(DP)到達の条件の 1 つとなっており、スーダンは、(SMP 以外の条件も達成した上で)6 月中に DP に到達できる見込み。

### 2. IMF 理事会によるスーダン債務帳消しのための計画の承認

10 日、クリスタリナ・ゲオルギエバ IMF 専務理事は、IMF 理事会が、スーダンの IMF に

対する延滞債務帳消しのための財務計画を承認したと発表した。同財務計画は、右債務帳消しのため、加盟国からの資金提供及び IMF 内部資金を活用する内容との由。声明の中で、ゲルオギエバ専務理事は、(本財務計画の承認が)スーダンが国際社会との関係正常化を進め、HIPC イニシアチブに基づく債務帳消しを実現する上で非常に重要な進展だと述べた

### **3. アフリカ開発銀行への延滞債務の帳消しプロセスの完了**

12日、アフリカ開発銀行(AfDB)は、理事会での承認を経て、スーダンが同行に対して抱える4.13億米ドルの延滞債務の帳消しプロセスを正式に完了した。延滞債務の帳消しに当たっては、英国が1.48億ポンド(スターリング・ポンド)のブリッジ・ローンを提供したほか、スウェーデンがスーダン負担分である420万米ドルを肩代わりするための無償資金援助を提供した。また、アイルランドもスーダンの将来の債務費用負担のため、15万ユーロの提供を確約した。